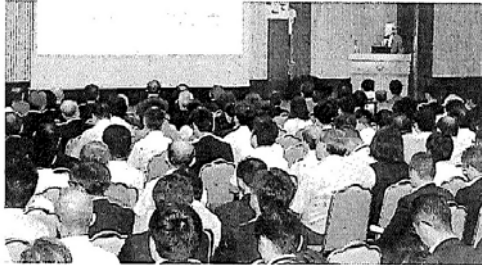


税制を通して日本の課題考察

宮坂建設工業が鳥羽氏招き講演会

宮坂建設工業(本社・帯広)は11日、元東京国税局長の鳥羽衛氏を招き、京王プラザホテル札幌で時局講演会を開いた。12年連続12回目の開催で、約1200人が参加。税を通して日本が直面する諸課題について理解を深めた。鳥羽氏は1975年東



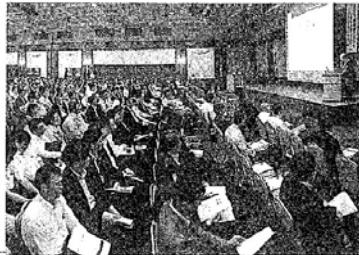
大法学部を卒業し、大蔵省(現財務省)に入省。東京国税局長を最後に退官した。現在、長島・大野・常松法律事務所のシニアカウンセラーを担っている。

講演会で鳥羽氏は、税の成り立ちや国の財政動向などを解説。ここ数年の税制改正の動きを振り返り、「所得税は人口構造や雇用形態の変化などに対して、税制がマッチしておらず、対応ができていない」と指摘し、一刻も早く手直しをする必要があると説いた。

PB黒字化達成に暗雲

宮坂建設工業 時局講演会

「税」のプロ・鳥羽氏が解説



1200人で埋まった講演会場

理念と、少子高齢化を止める施策との「また裂き」状態だと憂慮した。世界の経済構造の変化について、鳥羽氏は国際課税の分野で日本の地位低下を予測。OECD未加盟の中国、インドの台頭が、世界経済の台風の目になると予想した。

南海トラフ地震など発生確率が高いとされる自然災害の影響が「経済見通し等に反映されていないのは不自然だ」と鳥羽氏は指摘。「財政がへたっているときに大きな災害が発生するとどうなるか。今から議論しておく必要がある」と日銀、政府に注文を付けた。

宮坂建設工業(帯広、宮坂寿文社長)主催の時局講演会が11日、京王プラザホテル札幌で開かれ、元東京国税局長の鳥羽衛氏が「日本が直面する諸課題について、税を通して考え」と題し講演した。鳥羽氏は大蔵省(現財務省)を挙げ、人口減少期に入った現在「公平、適正な税の

講演会は平成二十年から二十一年連続十二回目の開催。講演会には建設業界関係者や一般市民で埋まった。

講演

◆宮坂建設工業が時局講演会

札幌市内で11日に開かれ、1200人が参加した。講演会は10年連続12回目の開催。宮坂寿文社長



のあいさつの後、元東京国税局長の鳥羽衛氏が「日本が直面する諸課題について、税を通して考える」をテーマに講演した。鳥羽氏は日本の税制や国家財政について解説したほか、人口減少によって労働力人口も減っている現状を指摘。「経済見通しも先進国の中で下位にある。日本の地位低下は止められない」と警鐘を鳴らした。

また、自然災害の多発や国際情勢の複雑化に伴い、日本を取り巻くリスクの多様化を強調。情報通信技術の発展による影響も「予測できない問題」とした。